

吉川中生徒による模擬議会・議員顔負けの一般質問・・将来に頼もしさ



11月22日（金）、市立吉川中学校の3年生による「模擬議会」が行われました。本番まで2回の事前打ち合わせ（事前学習）で、議会改革推進委員会と吉川中学校の先生をまじえて3年生全員と「一般質問」について論点を整理、4委員会にグループ分け、各委員会から2人の一般質問者計8人を決め、準備を進めてきました。

上越市議会は、これまで、市議をめざしやすい環境整備をはじめ、議会や議員の活動が市民に見えにくい状況を改め、市民から信頼される議会をつくろうと改革を進めてきました。中学生の「公民」の授業の一環として地方自治の仕組みや議会のことを学ぼうとする学校側の取り組みと重なり今回の「模擬議

会」の実現にこぎつけました。

生徒は議長役と議会事務局長役のほか、厚生、農政建設、文教経済、総務の4常任委員会に班を分けて、各常任委員が所管する分野からテーマを絞って「一般質問」を行いました。議員側は、武藤議長が市長役、杉田副議長が教育長役、各常任委員会の正副委員長が部長役で生徒議員と質問と答弁で渡り合いました。2回にわたる事前学習の場で、生徒全員と議員のアドバイスで練り上げた質問に、答弁に立った議員側も舌を巻く状況がみられました。

議長役を務めた江村健隼さんと事務局長役を務めた大瀧穂乃香さんは実に堂々と重要な役割を果たしました。

一般質問のトップで登壇した渡辺公実子さ



日本共産党上越市議員団ニュース

No.649 2019年12月1日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

さんは「最近テレビでは虐待の報道が多くなった。非常に悲しい現実を見聞きしている」として上越市での虐待はどれくらいあるのですか。また、虐待に対する対策はどのようなものがあるのですか」と質問。これに対して市長役

の武藤議長が「平成30年度の虐待児童数・世帯数は479人・230世帯で毎年増加している」と状況を明

らかにし、「積極的に地域に出向き、出前講座を実施している。現在25カ所以上で実施し、1200人以上の参加があった」と答弁しました。

また、上野公悦議員と宮川大樹議員がアドバイスとして入った文教経済委員会の塚田歩夢さんは水族博物館うみがたり周辺の観光振興について質問しました。

塚田さんは、「年間を通して90万人もの観光客が訪れている。そして観桜会でも100万人も来ている。しかし、その観光客は目当ての観光をこなすと、そのまま帰ってしまう。とても残念なことだ。その観光客を手ぶらで帰さないためにも何かうみがたり周辺または上越市全体で観光振興に関する取り組みは行われているか」と鋭く切りだしました。

再質問の答弁に立った、教育部長役の田中議員は、「イベントについては、上越観光ナビ等で常に情報を発信している。うみがたりのホームページからもリンクで上越市の観光案内に進めるようになっている。より充実を図れるよう、運営をお願いしている横浜八景島とも協議をしていきたい」「さまざまな関係団体と地域活性化検討会を組織してまち歩きマップの作成など活動を行っている」と答弁がありました。



市民から信頼される議会改革を！



議会や議員活動が主体者である市民の皆さんから信頼され、その姿が良く見えるように改革しようとの取り組みが行われています。

約半年間にわたって、市内28区から選出された30人の議会モニター。この間、本会議や委員会を傍聴していただいたり、今回を入れて3回にわたる議員との意見交換会を行い、改革に関する意見をいただきました。

今日の意見交換では、今までのモニターとしての経験から様々な意見・感想を述べてもいただきました。「追認ではなく市民の代表として、キチンとチェック機能を果たしてほしい」、「地域に足を運び住民の声を聞いてほしい」などの貴重なご意見をいただきました。改めて、議会の役割をしっかりと果たしていかなければと思っています。頑張ります。